

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率（%）

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	6 6 . 8	5 8 . 0	5 7 . 1
福島県	6 5	5 5	5 6
南相馬市	6 1	5 6	5 2

南相馬市立原町第三小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実 施 日 令和7年 4月17日（木）本体調査
- 2 調査対象 第6学年児童（66名）国語57名 算数56名 理科57名 質問57名
- 3 調査内容 （1）教科に関する調査（国語、算数・理科）
（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語・・・辞書引きを中学年から行ってきたため、意味や使い方を調べただけでなく、表現や言い回しについても学習することにより、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方に関する知識が高まり、全国平均を上回ることができた。一方、書くことの領域においては、文章全体の構成を考え、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための書き方が身に付けられるよう、繰り返し書く学習を取り入れていく必要がある。

算数・・・TTによるコース別学習や、少人数学習などを取り入れることで学習効果の最大化を図ってきた。特に図形領域では、それぞれの図形の構成要素をふり返りながら、具体物を使い、言葉で説明できるように学習を行ったことで全国平均を上回ることができた。一方、キーワードに注目しながら、問題を正確に読み取り「もとにする量」や「比べられる量」などを把握して計算が出来るよう、類似問題を繰り返し行いながら、割合の関係を理解出来るようにする必要がある。

理科・・・遊びの中から学べるような体験活動の時間を十分に確保してきた。そのため、特にエネルギー領域においては、実感を伴う理解の定着が見られた。一方、粒子領域においては、学習したことを生活体験に結びつけ、学習と日常を結び付けていく学習において、課題が見られた。

（2）児童・生徒質問調査

- 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができているか。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか。
- 理科の学習が得意か。
- 理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思うか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、思考力と表現力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、以下について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 学んだことを生かすために、ふり返り学習の充実や、既習内容を生かす視点を取り入れた学習内容の充実を図る。
- ・ 対話や探究を取り入れた学習に併せて、自分の考えを書いたり、話したりしながら表現する時間を設け、更にその考えを発信できるようにする。

6 保護者（や地域）の皆様へ

調査結果から、児童の学習環境作りにおいて、以下の2点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 家庭学習について
 - ・ 家庭学習時間、読書時間の確保。
- 地域行事や様々な体験活動の参加について
 - ・ 多くの人と関わることにより、多様な考えに触れるようにする。